

米国と北朝鮮の緊張

「解決は非軍事で」

北朝鮮と米国のトランプ大統領が軍事的選択を含めた過激な言葉の応酬をする中、両国に自制を求める国際的な発言や動きが強まっています。

ロシアのラブロフ外相は11日、



軍事衝突の危険性が「非常に高くなっている」と警告。若者らとの

対話で「戦闘となれば膨大な数の犠牲者が出る」と指摘し、「そうならないようわれわれはあらゆることをする」と強調。

独首相 脅迫の応酬は、間違った策 中国、ロシアも自制求める

ドイツのメルケル首相、8月11日、

「言葉のエスカレーションは紛争解決に役立たない」



「間違った解決策だ」と述べ、両国の対応を厳しく批判しました。

「この紛争に軍事的解決はない」と強調。国連安保理での協力や、米国、中国、韓国、日本などの関係国の「非常に緊密な協力」に注目。「ドイツは非軍事的解決に大いに関与していく」と述べました。

中国の習主席は、トランプ米大統領との



電話会談で、「関係国は抑制を保ち、朝鮮半島情勢の緊張を激化させる言動

を避けなければならない」と指摘。朝鮮半島の非核化や平和・安定の維持には「中米共通の利益がある」と強調した上で、対話と交渉を通じた政治解決を目指す必要性を改めて訴えました。(新華社通信から)



首脳等の写真はロイター

安倍政権 戦争する国へ 加速の危険

こうした中、小野寺五典防衛相は、10日の衆院安保委員会で、日本の上空を通過してグアムに向かう弾道ミサイルに対し、集団的自衛権を行使して対処する可能性に言及。北朝鮮情勢を利用する「戦争する国」の危険が加速する。北朝鮮からみる危険が、無関係に日本が攻撃をなしてきた朝鮮半島への理由を対話と交渉を通じた政治解決を目指す必要性を改めて訴えました。(新華社通信から)

6月1日、海上自衛隊と航空自衛隊は、日本海に展開中の米海軍の原子力空母2隻と共同訓練を始めた。写真は海上自衛隊の護衛艦「あしがら」(手前)。提供写真。4月撮影(2017年ロイター/Handout via Reuters)



日本共産党は、8月12日、志位委員長の声明「危機打開のため米朝は無条件で直接対話を」を米国、北朝鮮

日本共産党は「危機打開のため米朝は直接対話を」の声明を発表

裏面参照
下さい

えるものとなり、決するところか、「軍事対軍事」の悪循環を生み出すことになります。